



TITLE:

大橋隆憲教授記念号・献辞

AUTHOR(S):

平井, 俊彦

---

CITATION:

平井, 俊彦. 大橋隆憲教授記念号・献辞. 經濟論叢 1975, 115(3)

ISSUE DATE:

1975-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/133603>

RIGHT:

# 經濟論叢

第 115 卷 第 3 号

## 大橋隆憲教授記念號

---

献 辞	平 井 俊 彦	
工 場	堀 江 英 一	1
ドイツにおける最初の国民所得と		
階級構成の研究	浦 田 昌 計	26
フランスの統計組織	五十嵐 光 男	47
因果関係の把握と統計的推論	吉 田 忠	69
資産の所有構造とインフレーションの		
階級別影響	泉 川 弘 志 土 居 清 史 二	87
經濟統計論の対象と性質	野 澤 正 徳	113
戦後日本における兵器生産と		
その特徴について	木 原 正 雄	144

大橋隆憲 教授 略歴・著作目録

---

昭和 50 年 3 月

京 都 大 學 經 濟 學 會



大橋隆憲教授近影

# 大橋隆憲 教授 記念論文集

## 献 辞

大橋隆憲先生は本年1月22日をもって、満63歳の誕生日をお迎えになり、本年4月1日停年退官されることになりました。

先生は、戦後、推測統計学批判の基礎をうちたてられた『現代統計思想論』をはじめとする一連の労作に明らかなように、統計学、統計学史、統計思想史の諸分野において開拓者的な業績をあげられたのみならず、実証的研究の面においても、日本ならびに世界の階級構成の分析という野心的な課題に挑戦され、画期的な業績をお示しになりました。

先生の功績はもとよりこのような研究面にとどまるものではありません。学部長、評議員としての貢献はむろんのこと、教育・研究指導をとおして多くのすぐれた後進の訓育にあたられたのをはじめ、学外においては、日本統計学会、土地制度史学会、経済統計研究会における学会活動、民主主義科学者協会における活躍など、巾広い功績を残されています。

京都大学経済学会は、先生の多年にわたる学恩に感謝し、『経済論叢』の本年3月号を記念号として編集することになりました。先生の親しい友人、あるいは指導をうけられた方々の労作を一冊にまとめ、先生に捧げることができましたことは、わたくしども一同のこのうえない喜びとするところであります。

先生が今後ますます健康で、いっそう学会のため、また広く社会のために活躍下されることを心からお祈りいたします。

1975年3月1日

経済学部長 平井俊彦